

ECO ACTION 21

環境経営レポート

2023年度

2023年 4月1日～2024年3月31日



有限会社 和田商事

作成日

令和6年 4月15日



1 事業概要

会社名 有限会社 和田商事

代表者氏名 代表取締役 和田浩一

所在地 本社 〒419-0107 静岡県田方郡函南町平井1579-1
資機材置場 〒419-0107 静岡県田方郡函南町平井1702

事業内容 建設業、産業廃棄物収集運搬業

従業員数 18名

資本金 500万円

設立年月日 平成2年9月1日

保有許認可 静岡県知事許可（般-28） 第28384号
土木・とび・土工・石・鉄鋼造物・ほ装・浚渫・水道工事・解体業
産業廃棄物収集・運搬（内容は次ページ） 第02201080555

認証取得 ISO14001（2013.5.29）

環境管理責任者 和田典子

責任者連絡先 小坂比紗乃 TEL (055)-979-6099
FAX (055)-979-6098
E-mail wadaoffice@carol.ocn.ne.jp

対象範囲 事業活動 土木・とび・土工、石、鉄鋼造物、ほ装、浚渫、
水道工事、解体業、産業廃棄物収集運搬業

対象組織 本社、資機材置場

事業の規模

活動規模	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	305	348	336	327	340	386
従業員	人	18	18	19	19	18	18
受託した産業廃棄物の量	t	2968	2791	3824	1123	5774	2486
事務所床面積	m ²	49.5m ²	49.5m ²	49.5m ²	49.5m ²	49.6m ²	49.7m ²
倉庫床面積	m ²	37.5m ²	37.5m ²	37.5m ²	37.5m ²	37.6m ²	37.7m ²
資機材置場面積	m ²	2000m ²	2000m ²	2000m ²	2000m ²	2001m ²	2002m ²



2 事業概要

産業廃棄物の許可の内容

産業廃棄物収集運搬業				許可品目									
NO	都道府県	許可番号	許可年月日及び有効期限	廃プラスチック類※	金属くず※2	陶磁器くず※1	ガラスくず※2	コンクリートくず※	がれき類	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず
1	静岡県	第0220108055	令和 2年11月26日 令和 7年11月25日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1石綿含有廃棄物を含む。

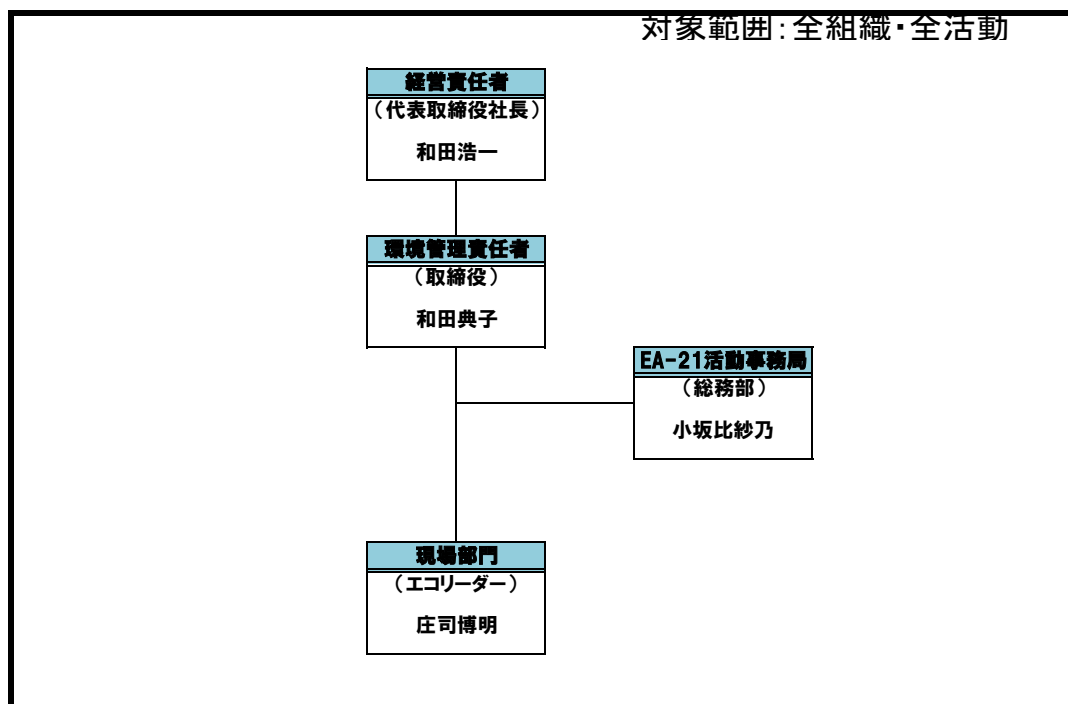
※2石綿含有廃棄物と水銀含有廃棄物を含む。

運搬車両

10トンダンプトラック	
4トンダンプトラック	
4トンコンテナトラック	
3トンダンプトラック	
3トンコンテナトラック	
2トンダンプトラック	



3 組織図・体制図



<環境管理組織における機能>

担当	
経営責任者 (代表取締役社長) 和田浩一	①環境経営全般に対する責任と権限 ②環境方針の作成と社員への周知 ③全体の評価と見直し ④実施体制の構築 ⑤経営の課題とチャンスの明確化
環境管理責任者 (取締役) 和田典子	①環境経営活動の推進 ②環境目標及び環境計画の作成 ③環境経営推進会議の実施 ④経営者への進捗報告
EA-21活動事務局 (総務部) 小坂比紗乃	①各部門のデータのまとめ ②活動計画の予実績管理 ③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施 ④環境管理責任者補佐 ⑤法規制最新版管理 ⑥文書・記録の管理
現場部門 (エコリーダー) 庄司博明	①環境計画の実施 ②月別部門データの集計 ③問題点の把握と是正の実施 ④推進会議の出席 ⑤従業員教育

TEAM WORK



TEAM WORK



4 環境経営方針

基本理念

有限会社 和田商事は伊豆半島の北に位置し土木建設業を営んでおります。
美しく気高き霊峰富士を北に仰ぎ、伊豆半島の美しい海岸、緑美しい山々。
草木や樹木を愛で温泉に入り、美味しいものを食べて美しい海を眺める……

伊豆ではそんな暮らしが当たり前のようにできます。

しかし豊かな自然に恵まれた生活は未来永劫続くのでしょうか？

人間の無知による自然環境の破壊は絶対に避けなければなりません。

地球レベルで一刻も早く地球を守ることに取り組まなければなりません。

それには一人一人の意識改革が必要です。

和田商事は、社会基盤を担う建設業の一員として

地球環境保全の重要性に視点を置き、業務を行う指導をしていきます。

和田商事は美しき自然を次世代に継承するため 自然環境に配慮した工事に努め
積極的に環境保全に取り込み持続可能な社会の実現図っていきます。



基本方針

- 1 事業活動による地球環境への負荷と影響を常に考えます
- 2 全社員で環境経営システムを認識し、継続的な取り組み低減・削減に努めます
- 3 環境に関する法規制及び協定を遵守いたします
- 4 環境に配慮した設計・工法・資材購入を実施します
事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進致します

二酸化炭素排出量（電力使用量、燃料使用量の削減）

廃棄物の排出量削減に努めリサイクルの推進をします

雨水を利用し節水の徹底（洗濯・洗車・散水etc）

グリーン商品の調達活動に取り組みます。

建設工事は環境に配慮した工事を実施致します。

行動指針

- 1 基本理念に基づき行動し、基本方針に沿った事業活動を行います
- 2 地域社会の一員である事を自覚し、個々人が責任を持った行動をします
- 3 事業活動の改善を心がけ、より良い環境保全に勤めます
- 4 個人を尊重し、他社に敬意を払い、謙虚な姿勢で仕事に取り組みます
- 5 環境に関する法規制及び協定を遵守します



改定日 令和5年4月15日

有限会社 和田商事
代表取締役 和田浩一



5 中期目標



	単位	基準	中期／短期目標			
		2022年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素（総量）	Kg-CO2	288,384	-1%	-2%	-3%	-4%
電力	KWH	12,516	-1%	-2%	-3%	-4%
ガソリン	ℓ	9,257	-1%	-2%	-3%	-4%
灯油	ℓ	601	-1%	-2%	-3%	-4%
軽油	ℓ	100,631	-1%	-2%	-3%	-4%
一般廃棄物	t	0.100	実績把握	実績把握	実績把握	実績把握
産業廃棄物（総量）	t	832	実績把握	実績把握	実績把握	実績把握
混合廃棄物	t	53.0	-1%	-2%	-3%	-4%
創意工夫の提案 （5百万円以上/工事物件）	件	8件	6件以上	6件以上	6件以上	6件以上
水使用量	m3	—	節水活動	節水活動	節水活動	節水活動
グリーン購入	—	優先購入	環境配慮品の優先購入努力			
※1：水は、雨水及び井戸水を使用し、使用量が少なく、使用量把握困難なので節水活動のみ						
※2：一般廃棄物は発生量が少なく目標をおかず実績把握のみ						
※4：産業廃棄物は工事の内容、量に大きく変動する為目標はおかず削減可能な混合廃棄物を目標とした。						



6 目標と実績・是正及び予防処置

電力二酸化炭素換算係数：東京電力（0.462kg・CO₂）

	単位	2022年度	2023年度		達成状況
		基準年度	目標（-2%）	実績	
二酸化炭素	Kg-CO ₂	288,384	285,500	234,738	○
電力	KWH	12,516	12,391	11,346	○
ガソリン	ℓ	9,257	9,164	5,222	○
灯油	ℓ	601	595	909	×
軽油	ℓ	100,631	99,625	83,379	○
一般廃棄物	t	0.100	実績把握	0.100	○
産業廃棄物（総量）	t	832	実績把握	2,100	○
混合廃棄物	t	53.0	52.5	51.2	○
創意工夫の提案 （5百万円/工事物件）	件	8件	6件以上	8件	○
水使用量	m ³	—	実績把握	12	○
グリーン購入	—	優先購入	優先購入努力	優先購入実施	○



<評価（是正処置及び予防処置）>

①是正処置（未達成項目）

未達成目標	発生原因	今後の是正処置
灯油	福利厚生として野外休憩所に石油ストーブを設置した。大型で野外なので灯油の消費が激しく、それが原因と思われる。	社員帰宅後は直ちに消す。

②予防処置（達成項目）

達成目標	活動の状況	今後の予防処置
二酸化炭素排出量	約90%を占める「軽油」の使用量が削減できたので、目標を達成した。	引き続き、省エネ、エコドライブを励行する。
ガソリン	EV車の導入によりガソリンの使用が大幅に減少した。	EV車の導入促進
軽油	運搬量の変化及び可能な範囲でのエコドライブの工夫で目標を達成した。	今後共活動を継続する。
一般廃棄物	少量であり、削減活動は定着しているので、現状の活動で特に問題ない。	今後共維持活動を継続する。
産業廃棄物（総量）	工事の種類や状況により排出量が決まるので、産業廃棄物量はむしろ増やしたく、「現状把握」を継続すれば良いと思われる。	今後共「現状把握」を継続する。
混合廃棄物	削減はしているが、工事の状況で変わる傾向があるが、分別活動により目標は達成できた。	今後共、分別等による削減活動を継続する。
創意工夫の提案	500万円以上の工事物件について、主体的に環境配慮の提案を行っているので、今回はその物件が増え件数が達成できた。	今後共、引き続き工事の提案を継続する。
水使用量	少量なので、節水活動をしつつ「現状把握」を目標にしているので、特に問題ない。	今後共、節水活動を継続する。
グリーン購入	事務用品、工事にかかわる材料などについては、すでに環境配慮品を購入しているので問題ない。	引き続き、環境配慮品の購入を行う。

7 環境活動計画及び取組結果と評価・次年度の の取り組み内容

目標		活動計画	評価	評価	次年度の予定
二酸化炭素排出量の削減	電気	・ 節電表示、呼びかけ	○	社員全体で節電ができた	継続して実施する
		・ 空調温度適正化・表示	○		
		・ 昼休み・外出時の消灯運動	○		
		・ LED照明器具の導入	○		
		・ p c の電源OFF呼びかけ	○		
	ガソリン・軽油	・ アイドリングストップ	○	価格の比較をして安価にガソリンの調達ができた	継続して実施する
		・ エコドライブの実施	○		
		・ ナビシステムの導入・利用	○		
		・ 相見積もり手法の活用	○		
		・ 効率の良い走行ルート	○		
		・ 省エネ車の購入	○		
		・ フルアクセルの抑制	○		
廃棄物の削減	一般	・ 古紙の分別、リサイクル	○	良好	個々の自覚 継続して実施する
		・ ペーパーレス化	○		
		・ 印刷ミスの防止	○		
		・ FAXのPDF化	○		
		・ 電子化	○		
	産業廃棄物	・ 仮設資材、用具のリユース化	○	3Rを意識して工事計画をたて実行できた。	継続して実施する
		・ 産廃と一般ゴミを混合しない	○		
		・ ゴミ分別の徹底	○		
水使用量の削減		3Rの推進	○	良好	継続して実施する
		3Rを意識して工事計画を立てる	○		
		・ 雨水・井戸水の使用 (トイレ・洗車・水やり・洗濯)	○		
		・ 節水表示、呼びかけ	○		
グリーン購入		・ 漏水点検	○	良好	継続して実施する
		・ 発注時に確認する	○		
		・ 優先購入	○		
環境配慮	創意工夫の提案	・ 環境配慮工事の提案	○	常に環境配慮して工事をする ことができた	今後継続して意欲的に取り組む
		・ 低騒音・低振動重機の使用	○		
		・ 工事終了時、掃除の徹底	○		
		・ 特定工事での施工計画への反映	○		
		・ ハイブリットバックホウの購入	○		



8 環境関連本法等の遵守状況の確認及び評価の結果並び違反・訴訟等の有無

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	遵守事項	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出事業所との委託契約	契約（書）の締結	○
	マニフェストの管理	D票、E票の返却	○
	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	○
	マニフェストの保管	5年間	○
	投棄禁止	不法投棄を行わない	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	○
	保管場所への掲示	60cm×60cm 以上掲示	○
	マニフェストの年間集計と知事への報告	6月30日までに電子にて提出	○
	処分場の確認	年1度現地確認	○
	水銀含有廃棄物の処理	保管・取り扱い・委託	○
建設リサイクル法	建設副産物のリサイクル	工事計画書・実績報告	○
函南町一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別排出	条例に沿った排出	○
騒音・振動規制法	特定作業規制	指定地域・時間帯規制	○
	地域住民との取り交わし	取り交わし実施	○
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫 他	○
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	○
環境基本法	一般的な自主努力	環境への取組み努力	○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	○
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	○
グリーン購入法	環境物品の購入及び工事材量提案	事業者の一般的責務 工事計画書	○
自動車、リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	○
浄化槽法	浄化槽使用開始届け 保守点検の実施	年4回の管理点検・年1回清掃（（有）朋栄） 年1回法定検査	○
道路法、上下水道法、河川法	工事業者登録と更新及び技術士設置	登録と5年毎の更新	○
建設業法	許可の申請	登録と5年毎の更新	○
フロン排出抑制法	点検及び廃棄時指定業者への引き渡し	建設重機簡易点検	○
		年4回の簡易点検 年1回清掃	○
建設基準法	基準の遵守 届出	法令順守	○

遵守状況評価日 令和6年4月1日

- 環境関連法規の遵守状況
当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
- 違反、訴訟等の有無
関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

9 代表者による全体の評価と見直し

評価

エコアクション21の取り組みを開始して13年目突入です。

今現在行っていることを書き出してみました。

現場作業ではリサイクルが厳しくなりつつあります。会社として社員にリサイクルの意味を常に周知させ取り組んでおります。建設機械、大型ダンプ等高燃費の機械の導入・EV車も致しました。

事務職ではインボイス導入、電子領収書などのペーパーレスの実行・建退協の電子申請・安全書類も電子WEB請求書の利用、電子マニフェストにおいては9割が電子マニフェストになりました。

電子化が急速に進みつつあります。エコに対して全体的に動き出してることを実感します。

今現在も燃料の高騰は続いておりますが創意工夫して効率の良い稼働をして行きたいです。

今後もあらゆる方法でエコ推進を進めていきたいと思います。

<指示内容>

①2024年度は、引き続き、環境経営目標の達成に努力する。

②方針・計画・実施体制は継続する。



令和6年4月15日
有限会社和田商事
代表取締役 和田浩一

10 緊急対策

緊急事態の想定（通報）（消火）訓練

①通報訓練・消火訓練実施（令和6年2月22日）

本社休憩所にて火災発生を想定し、通報・消火の訓練を行う。

実際にあった火災事故

就業後、休憩室で雑談、喫煙、帰宅

タバコの火が消し切れてなくて燃え上がり火災報知器が鳴り、社内から社長が発見

消防署に連絡後自ら消火器で消火

消防車が到着した時には消火済み。

火の始末について指導を受ける。

訓練

火災発見後消火活動と消防連絡を分担する。

危険を想定し周りに人がいたら避難させる。

消火器で消火する。

燃えがらを片付ける。

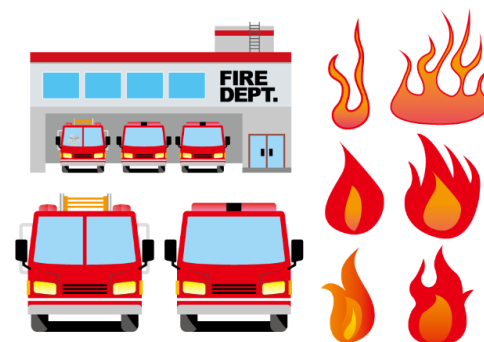
対策

大き目のバケツに水を入れておく。

タバコの火が消えたことを確認する。

吸い殻入れに水を張っておく。

消火器の場所はわかりやすいところに文字で貼り出す。



※評価と改善策

工事現場や置場での火災は毎年あります。出火原因としては溶接や溶断作業による火花の飛散や作業員の喫煙の不始末。さらには夜間施錠されていない工事現場への放火などがあげられます。

火災予防対策を徹底し、火災予防に万全を期していきたいです。

今回は最も可能性の高い会社の喫煙場所での出火を取り上げてみました。

喫煙管理の徹底や可燃物危険物等の付近での喫煙など徹底したいです。



11 環境コミュニケーション受付票

NO.	情報入手日	情報種類	内容詳細	情報源	入手方法	回答の 必要性	対応内容
1		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	
2		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	
3		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	
4		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	
5		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	
6		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	
7		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	
8		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	

クレームはありませんでした。

